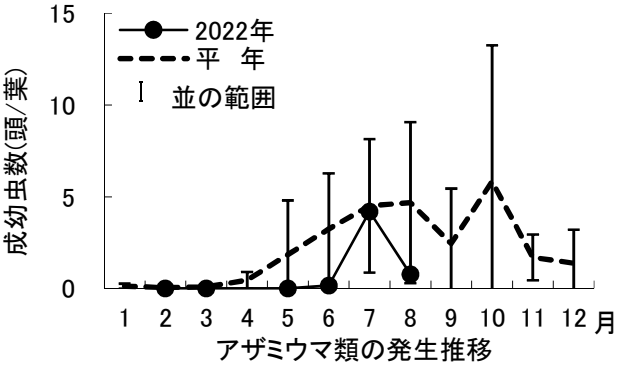
令和　4 年度　　9 月予報

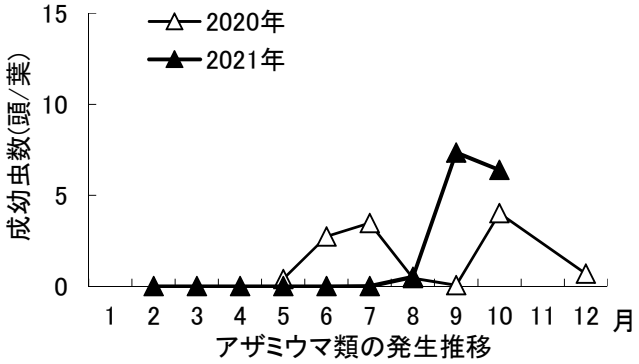
作物	マンゴー	地域	沖縄群島
病害虫名	① チャノキイロアザミウマ		
調査結果	8 月の発生量（平年比）	並	
予報	8 月からの増減傾向	↘	
	9 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↘）	

調査結果

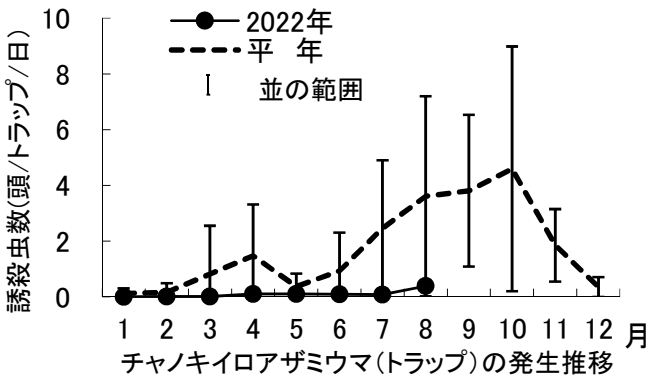
見取り調査：今期と平年の推移



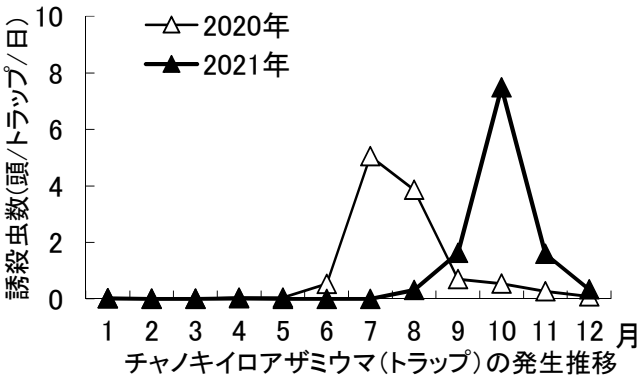
見取り調査：過去2年の推移



トラップ調査：今期と平年の推移



トラップ調査：過去2年の推移



・発生施設率　50.0%（平年値　86.3%）

防除のポイント

・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。
・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・収穫期に発生の多かった施設では、せん定終了後に薬剤による防除を行う。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

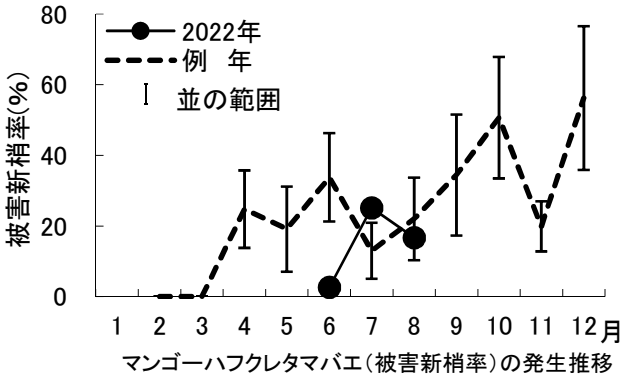
ナガエコミカンソウ

令和　4 年度　　9 月予報

作物	マンゴー		地域	沖縄群島
病害虫名	② マンゴーハフクレタマバエ			
調査結果	8 月の発生量（平年比）	並		
予報	8 月からの増減傾向	↗		
	9 月の発生量（平年比）	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）		

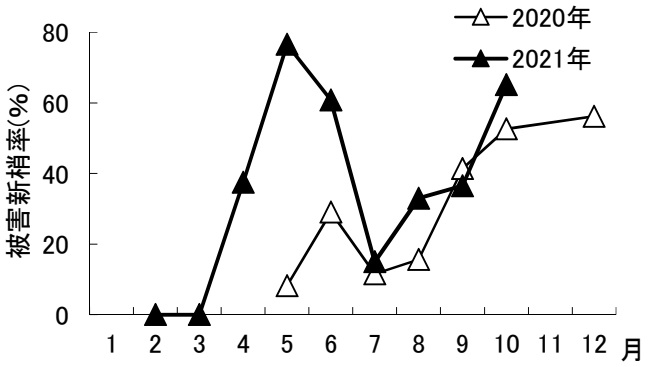
調査結果

今期と平年の推移



マンゴーハフクレタマバエ（被害新梢率）の発生推移

過去2年の推移



マンゴーハフクレタマバエ（被害新梢率）の発生推移

・発生施設率　37.5%（平年値　87.0%）

防除のポイント

・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。

・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。

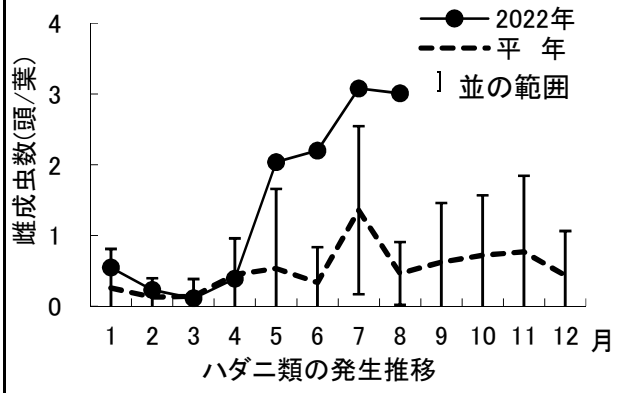
被害葉

令和　4 年度　　9 月予報

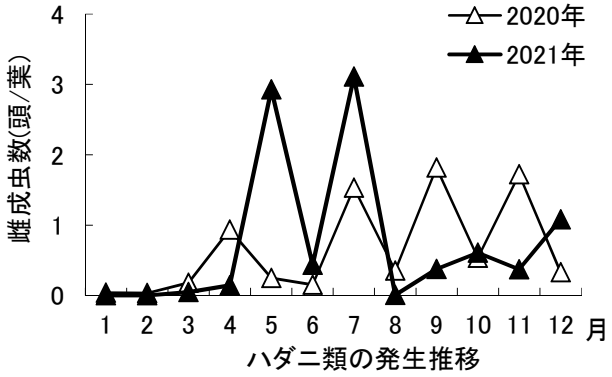
作物	マンゴー		地域	沖縄群島
病害虫名	③ ハダニ類			
調査結果	8 月の発生量（平年比）	やや多		
予報	8 月からの増減傾向	↗		
	9 月の発生量（平年比）	やや多		
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）		

調査結果

今期と平年の推移



過去2年の推移



・発生種：シュレイツメハダニ、マンゴーツメハダニ

・発生施設率：50.0%　（平年60.3%）

・一部施設では、シュレイツメハダニの多発生が見られた

防除のポイント

・晩秋にかけて発生が多くなるので、発生ほ場では早期発見・防除を行う。

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ハダニの寄生による葉のかすれ症状

マンゴーツメハダニ